

楽しみながらロボットの役割学ぶ

長瀬小ロボット体験学習



ロボットを操作する1年生。パソコンを使って前後左右の歩行、ボールを蹴る、腕立て伏せなどの動作をさせました。

長瀬小では9月24日、いわき明星大の高橋義考准教授を講師に招き、ロボット体験授業が開かれました。

同校のエネルギー環境教育・科学教育の一環で、ちゅうでん教育振興財団の「第13回ちゅうでん教育振興助成」を受けて開催されたものです。

1・2年生、3・4年生、5・6年生の3回に分けて授業を実施。児童たちは、ロボットが人間社会にどのように役立っているかの説明を聞いた後、パソコンを使って二足歩行ロボットを操作し、ロボットの有用性について学びました。

町の現状、正しく知って

農青連が農業体験ツアー開催



▶参加者の中で米の全袋検査が行われていることを知っていた人は、一人もいませんでした

参加者の声



板橋恵津子さん、亮くん(埼玉県)

初めて体験することはばかりで、とても楽しかったです。また、農産物は放射能の検査をしっかりとやっていて、安心して安全だということがよくわかりました。私が農業体験で福島に行くと言ったら「えー」と驚く人もいました。首都圏のほとんどの人が福島の現状をよく知らないと思います。フェイスブックをやっているの、今回のことを載せようと思います。(恵津子さん)



大好きなパパ、ママと一緒に「ハイ、チーズ」

名前の「彩」には、「彩りのある、幸せな人生を送ってほしい」というパパとママの願いが込められています。

渡部 紗彩 ちゃん

平成25年6月生まれ

～蟹沢・長浜一登さん・未来さん夫婦の長女

最近、寝返りの練習に夢中の紗彩ちゃん。この前は、あと少しのところまで元に戻ってしまい、泣きながら何度も何度も挑戦していたのだとか。ママの未来さんは「一人で頑張る姿を見て成長を感じ、とてもうれしかった」と顔をほころばせます。体を使った遊びが大好きで、中でもパパの高い高いがお気に入り。他の人では味わえない高低差に、一段と大きな声で喜びます。パパの一登さんは、そんな紗彩ちゃんがかわいくて仕方がない様子。初めて話す言葉が「おとうさん」であってほしいと、「おとう」「おとう」と一生懸命教えているそうです。「努力が実るかどうかが、今からワクワクしています」と未来さんは笑顔で話しました。 ※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。 ☎(62)2111



前後町長に寄付金を手渡す渡部一男実行委員長(右)

町民親善ゴルフ大会実行委員会

町民親善ゴルフ大会実行委員会は10月4日、町に災害復興支援協力金として10万円を寄付しました。大会は9月8、9の両日、郡山市の郡山熱海カントリークラブで開催され、2日間合わせて163人が参加。寄付金は、参加者から募った9万6110円に実行委員会の補助を合わせたものです。

Ha-DU 松本喜陽さん(大阪市)、ライト・イヤー 松海敦子さん(姫路市)、白井さと子さん(福岡市)、太田博司さん(福岡市)

ホテルマウント磐梯は9月30日、町に災害復興支援協力金として14万4319円を届けました。

研修旅行で本町などを訪れ、同ホテルに宿泊した大阪市、姫路市と福岡市の4つの美容室から寄託を受けたもので、同ホテル女将の一ノ瀬恵子さんらが町役場を訪れ、前後公町長に手渡しました。



前後町長に寄付金を手渡す一ノ瀬さん(中央)

上記のほか、社会福祉事業協力金として猪苗代歌謡教室(磯川猪四郎会長)から50,000円、佐藤マツさん(中ノ沢)から10,000円をご寄付いただきました。

ご寄付ありがとうございます